

事業計画書

現在の地域課題に対する本事業での実施内容	○「遊び」を通じた多世代交流イベントの開催 アルパカとのふれあい、ツリークライミング体験で子どもが主役になれる場を提供。シニア向け「歌声喫茶」を同時開催し、高齢者が「教える・見守る」立場で自然に社会参加できる仕組みを作ります。 ○地域の未利用資源（旧保育園跡地）の有効活用 白鳩幼稚園や旧望月保育園跡地を、地域の「居場所」として活用 ○地域資源を活かした「新しい望月」の研究 長野西望月サテライト校の生徒や移住希望者と共に、耕作放棄地を活用した特産品開発のアイデア出し（ワークショップ）を行い、若者の視点を地域づくりに取り入れる。
対象となる人・範囲	地域住民を中心とした佐久広域の住民および移住希望者。
事業の効果、達成目標 （達成目標はできる限り数値で示すこと） 記載ポイント 事業の ・公益性	数値目標：年3回開催、延べ90人以上の参加。 事業の効果： ○子育て支援 「孤育て」の解消。親同士のネットワーク形成と育児不安の軽減。 ○高齢者・絆づくり シニアの役割創出。多世代交流による「支え合い」の意識向上と防災力強化。 ○地域活性 移住希望者への地域魅力発信。高校生との協働による地域愛の醸成。
詳細 （活動内容・方法・スケジュール等ができるだけ詳しく、別添資料のある場合はその旨を記載する） 記載ポイント 事業の ・独自性 ・発展性 ・実現可能性 ・団体の自立促進	【活動内容：望月の未来を育む「ニコニコひろば」の創出】 閉園した旧望月保育園跡地と白鳩幼稚園を舞台に、多世代が笑顔で集える交流拠点「望月ニコニコひろば」を創出します。単なるイベントに留まらず、地域の未利用資源を活かして以下の3つの活動を展開します。 ①多世代交流イベント（年3回）：親子で楽しむ「アルパカふれあい」や「ツリークライミング体験」、シニア向けの「歌声喫茶」を開催し、自然な交流を促します。 ②若者との共創ワークショップ：望月サテライト校の高校生と共に、耕作放棄地を活用した特産品開発や、跡地活用のアイデア出しを実践します。 ③ニーズ調査とコミュニティ形成：参加者からの意見を反映させ、地域住民が主体的に関われる仕組みへと育てていきます。 ○独自性：アニマルセラピー（アルパカ）やツリークライミングといった非日常体験を「子育て支援」と「シニアの社会参加」に結びつけた点にあります。動物や自然を介することで、世代を超えた会話が自然に生まれる仕掛けが特徴です。 ○発展性：本事業は「交流の第一歩」です。次年度以降に「シェアキッチン」や「コワーキングスペース」の整備、移住者のチャレンジショップや子ども食堂など、地域課題を解決する常設拠点へと進化を目指します。 ○実現可能性：地域住民有志による実行委員会のため、近隣福祉施設や高校との連携構築は容易です。既に各専門業者からの見積も取得済みで、予算・行程ともに具体的で着実な遂行が可能です。 ○団体の自立促進：現在は支援金を活用しますが、活動を通じて賛同者（会員）を募り、将来は参加費や会費による運営への移行を目指します。次世代の担い手である高校生を巻き込むことで、長期的に地域を支える組織（連鎖）を目指します。
重点テーマに該当する理由	閉園した保育園跡地を「地域の記憶の場所」から、動物や自然を介した「多世代交流型の居場所」へと転換するものです。単なるイベントに留まらない持続可能な子育て支援を実現する。
翌年度以降の取組	シェアキッチンの整備、移住希望者のチャレンジショップ・ワンデイシェフとしてのお試し出店や独立開業のサポート、親子料理教室、子ども食堂の実施。 草木染めやミツロウ石鹸づくり等、自然に親しむワークショップの内容を充実させる。移住定住促進対策の一環として、コワーキングスペース機能付加。特産品の研究開発。